

研究の目的：

Perry 症候群の臨床病理学的解析を行い、国際診断基準の作成を行う。

研究結果の概要：

国内の家系調査により **Perry** 症候群の臨床症状について解析した。また、**Mayo Clinic** との国際共同研究により **TDP-43** とダイナクチンの病理学的特徴について検討し、睡眠障害に関する臨床病理学的解析も行った。**Mayo Clinic** を含む国際共同研究により、**Perry** 症候群の国際診断基準原案の作成を行った。

研究の実施経過：

本邦の家系 (**FUK-1**、**FUK-4**、**OMT**、**MZK**) の詳細な家系調査を行い、臨床症状について解析した。また、**Mayo Clinic** との国際共同研究により、**Perry** 症候群剖検脳における中枢神経内の **TDP-43** およびダイナクチンの細胞内封入体の分布について再評価した。また、睡眠障害のメカニズムを明らかにするため、**Perry** 症候群剖検脳におけるオレキシン神経の減少の有無について解析した。

研究成果の刊行に関する一覧表：

The impact of early morning off in Parkinson's disease on patient quality of life and caregiver burden. / Onozawa R, Tsugawa J, Tsuboi Y, Fukae J, **Mishima T**, Fujioka S. Journal of Neurological Sciences 2016;364:1-5

Hospital-based study on emergency admission of patients with Parkinson's disease. / Fujioka S, Fukae J, Ogura H, **Mishima T**, Yanamoto S, Higuchi MA, Umemoto G, Tsuboi Y. eNeurologicalSci 2016;4:19-21

Cytoplasmic aggregates of dynactin in iPSC-derived tyrosine hydroxylase-positive neurons from a patient with Perry syndrome. / **Mishima T**, Ishikawa T, Imamura K, Kondo T, Koshihara Y, Takahashi R, Takahashi J, Watanabe A, Fujii N, Tsuboi Y, Inoue H. Parkinsonism Relat Disord. 2016;30:67-72.

研究成果による知的財産権の出願・取得状況：

なし

研究により得られた成果の今後の活用・提供：

TDP-43 とダイナクチンの病理学的特徴についての評価および睡眠障害に関する臨床病理学的解析を行った。それらについて論文作成を行い、現在、論文投稿中である。また、**Perry** 症候群の国際診断基準原案の作成を行った。国際診断基準の論文化により、**Perry** 症候群の診断の際に活用されると考える。

